

## 自然休養林情報

### 白谷雲水峡で屋久島山開き

夏山シーズンを本格的に迎え、宮之浦岳を主峰とする山岳登山者や屋久島山系愛好者等の安全を祈願するため、4月21日に屋久島山開きが関係者多数出席のもと白谷雲水峡入口で厳かに行われました。

これから屋久島では、登山や森林浴に適したシーズンとなるとともに様々な植物が花を咲かせます。特に、山々の彩りを飾る植物は、クロバイからヤクシマサルズベリ、ヤマボウシ等へと移り変わり訪れる人の目を楽しませてくれます。

また、白谷雲水峡内の飛流歩道沿いには、林内散策時の休憩はもちろん雲水峡の素晴らしい景観を一望することができる東屋が完成しましたので、ぜひおいで下さい。(白谷雲水峡までの県道については、現在も夜間及び雨天時は通行止となっています。)



## 縄文スギの樹勢回復措置を実施

### 森林環境保全センター平成10年度業務予定

保全センターは屋久島国固有林における自然遺産の厳正な保護及びその周辺地域を含めた森林環境の適切な保全・利用に資するため、①森林生態系の保護②公益的機能発揮のための治山③森林教育及び森林レク活動等を推進する事業等を行ってまいります。今年度も、縄文スギ等の樹勢回復措置や、ヤクスギランド及び白谷雲水峡の施設整備等を実施していく予定です。

今年度の保全センター事業は、昨年度に引き続き世界自然遺産地域等への入り込みによる森林生態系への影響調査や、登山道周辺の植生回復措置等を実施します。特に、縄文スギについては、周辺土壌の改良や土壌流出防止等の樹勢回復措置を実施する予定です。

また、屋久島の貴重な植物であるヤクタネゴヨウやヤクシマシヤクナゲ、著名ヤクスギの保存事業等に関係機関と共同で継続して実施します。さらに、国土保全や公益的機能を発揮させるための自然休養林の施設整備や治山事業を実施するとともに、国民の森林レク活動等を推進する事

## 森林軌道敷が正規の登山道では無いことへの理解を求め

### 屋久島山岳部利用対策協議会開催

平成10年度第一回協議会が四月十日屋久島環境文化村センターで開催されました。

中心議題になったのは、荒川登山口での監視指導員の配置に関して荒川登山口周辺に駐車帯を表示して欲しいとの意見があり、これに対し保全センターから昨年の協議会で要請したとおり、森林軌道敷

業や森林教室等の実施・フィールドの提供等を行います。この他、本誌「洋上アルプス」等を通じて森林環境保全活動等の情報発信や自然遺産地域を中心とした森林パトロールを行う等、屋久島の貴重な森林環境を保全していくための活動を実施していきます。なお、業務予定(詳細)は裏面に掲載しています。

## ヤクスギランド荒川橋の渡り初め式開催



四月一七日、ヤクスギランド内において平成九年度事業で完成した荒川橋の渡り初め

式が、関係機関約五〇名を招いて晴天の中静粛に行われました。安全祈願の後、ヤクスギランドを美しくする会会長熊本営林局長、小牧建設社長久島営林署長、小牧建設社長四名によりテープカットが行われ、最後に吊り橋の心地よい揺れを満喫しながら参加者全員による渡り初めを終え無事式典を終了しました。

## 屋久島の植物



クロバイ (はいのき科)

千葉県以南に分布する常緑高木。大きなものは高さ一〇m、幹は直径三〇cm以上にも達する。樹皮が黒いのでクロバイという。花期は4〜5月、通称県道安房公園線をはじめ屋久島のいたる所で多数の小花をつけて樹皮を覆い、山裾一面を真っ白く飾っている。

## お知らせ

### 特産品祭で林産物等を販売します

五月九・十日に開催される「第五回超自然屋久島ツアーデー」のゴール時間帯に合わせて行われる上屋久町主催の特産品祭の場で、屋久島営林署も五月九日に営林署コーナーを設けて参加します。コーナーでは、シキミ、サカキ、屋久杉木片、すりこぎ及び「屋久島の森林」(セルフガイドブック)等を販売する予定です。ぜひお越し下さい。

とおり決定されました。リーフレットの作成・配布・ポスターの作成・掲示・ゴミ持ち帰りキャンペーン・荒川口での監視指導員の配置(四月二六〜五月五日)・縄文杉での自主的監視指導



# 屋久島森林環境保全センター 平成10年度 業務予定

## ◆ 森林生態系保護

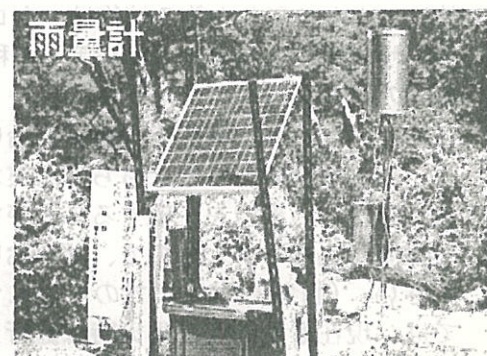
### ◎ 世界自然遺産保全緊急対策（平成8年度～）

- 1 生態系モニタリング調査：入込み状況調査，生態系の変化に関する調査（植生，水質等）
- 2 民間協力推進：屋久島山岳ボランティア連絡会議等
- 3 植生回復措置：登山歩道周辺の土砂流出防止措置等
- 4 ヤクスギ樹勢回復措置：樹勢回復措置（縄文スギ，大株歩道周辺被害木）



### ◎ モニタリングの実施

- 1 森林植生のモニタリングプロットの実施  
平成7年度から5ヶ年で森林気候帯ごとの大プロット及び代表的な林相の小プロットを設置予定。本年度も大・小プロットについて設定する。
- 2 雨量等の観測  
保全センターで設置した雨量計7箇所を継続して観測する。
- 3 水質調査  
(1)雨量計設置箇所等の林外雨と主要溪流及び高層湿原の溪流水（計12箇所）の採取（毎月）と森林総合研究所九州支所による分析（継続）  
(2)森林総合研究所四国支所の国有林を利用した水質調査への協力  
9年度から3年間，毎月5箇所の溪流水を採取し分析結果を得る。



### ◎ ヤクタネゴヨウの保護増殖

林木育種センター九州育種場と共同で保護増殖事業推進のための調査・研究へ協力する。

### ◎ ヤクシマシャクナゲの保護増殖

屋久島環境文化財団と共同で5年計画（平成7～）のもとシャクナゲ生産及び保護増殖に必要な育苗技術を開発する。

### ◎ 著名ヤクスギの遺伝資源保存事業

林木育種センター九州育種場と共同実施（平成7・8年度に15個体採穂完了）。現在育種センターで保存・増殖事業とその後の屋久島での保存事業を推進する。

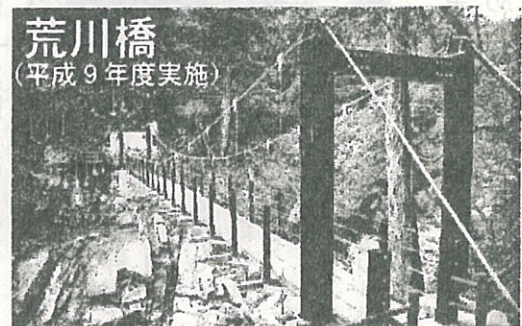
## ◆ 治山事業

### ◎ 復旧治山

- 1 コンクリート谷止工の実施：災害 3基（前年度から継続）

### ◎ 重要自然維持地域保安林整備

- 1 ヤクスギランド  
（屋久島自然休養林：荒川地区）の歩道整備
- 2 白谷雲水峡  
（屋久島自然休養林：白谷地区）の歩道整備



## ◆ 森林教育・森林空間利用等

### ◎ 森林教室等の実施

- ◎ 森林環境整備推進協力金による屋久島自然休養林の整備等
- ◎ 広報「洋上アルプス」の発行及び年報（平成9年度）の作成
- ◎ 山岳部利用対策協議会への参加と関係機関との連携強化
- ◎ 資料室の整備・拡充
- ◎ 世界遺産地域等の森林パトロールの実施

